

安城市 減災まちづくり研究会 成果報告会

災害多発

の時代の中で、

今しておくべきこと



〔西日本豪雨〕
浸水被害の様子
(岡山県真備町)



〔大阪府北部地震〕
屋根の損壊被害



〔西日本豪雨〕
夜中に冠水した道路
(岐阜県関市上之保地区)



〔北海道胆振東部地震〕
土砂崩れによる被害
(北海道厚真町吉野地区)

年間を通して実施してきた家具等転倒防止対策および備蓄品準備の成果や課題を報告します。また、多発している自然災害に向けて、「被災する」とはどういう状態になるのかについて学び、大切な命を守るために、自分たちや地域で今からできることについて考えます。

2019年

日時

3月17日(日) 13:30~16:00

会場

アンフォーレ ホール (定員 250名)

安城市御幸本町 12番1号

※ 駐車場については裏面をご確認ください。

申込み
不要

参加費
無料

内容

● 13:30~ 開会の挨拶

● 13:35~ 基調講演

「災害多発の時代の中で、今しておくべきこと
~大切な命を失う前に」

講師：東京大学大学院情報学環 特任教授 片田敏孝氏

● 14:55~ パネルディスカッション

「今年度の取り組みを振り返る」

自主防災会や企業、NPO等からの活動報告を行います。

進行：認定NPO法人レスキューストックヤード

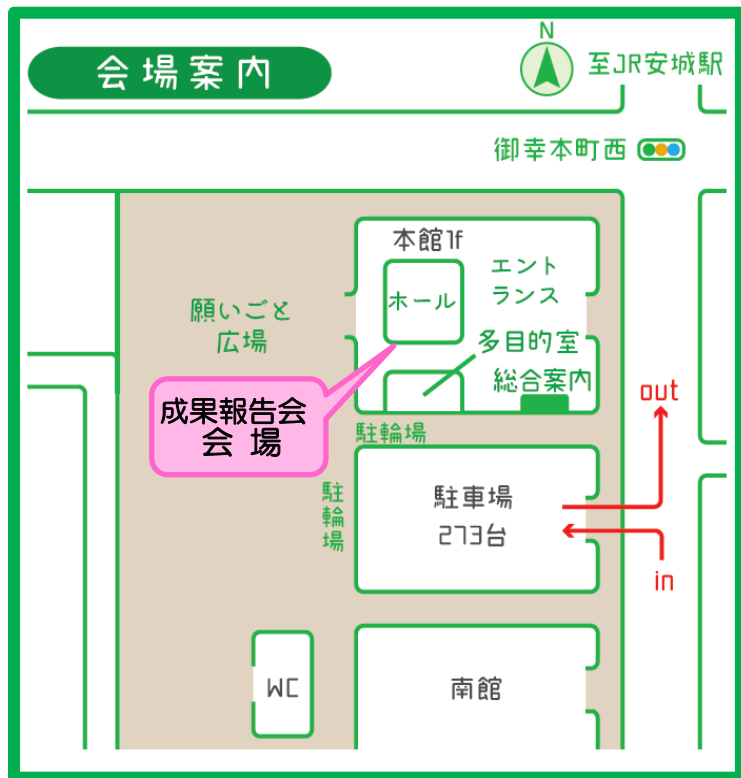
代表理事 栗田暢之氏

● 15:55~ 閉会の挨拶

問合せ

安城市 危機管理課

☎ 0566-71-2220



駐車場について

お車でお越しの場合は、2時間まで駐車無料サービスをご利用いただけます。

アンフォーレ本館に割引認証機が設置してありますので、必ずご利用ください。

<割引認証機の設置場所>

- 本館 1階「総合案内」
- 本館 1階「証明・旅券窓口センター」
- 本館 2階「図書情報館総合案内」

※2時間を越えると、それ以降は30分毎に100円の駐車料金がかかります。



基調講演 講師プロフィール

● 東京大学大学院情報学環 特任教授 片田敏孝氏

専門は災害社会工学。

災害への危機管理対応、災害情報伝達、防災教育、避難誘導策のあり方等について研究するとともに、地域での防災活動を全国各地で展開している。特に、釜石市においては、平成16年から児童・生徒を中心とした津波防災教育に取り組んでおり、地域の災害文化としての災いをやり過ごす知恵や災害に立ち向かう主体的姿勢の定着を図ってきた。平成24年には防災の功労者として2つの内閣総理大臣表彰を受賞、また平成26年には皇居に招かれ天皇皇后両陛下にご進講もしている。

また、内閣府中央防災会議や中央教育審議会をはじめ、国・外郭団体・地方自治体の多数の委員会、審議会に携わり、研究成果を紹介しながら防災行政の推進にあたっている。主な学会活動として、日本災害情報学会副会長、日本自然災害学会評議員がある。



● 安城市減災まちづくり研究会とは・・・

必ず発生する災害に備えるため、産・学・官・民が一体となり、安城市の減災を推進するため平成25年に発足。各団体が互いの取り組みに学びながら、様々な防災・減災活動を行っています。今年度9月には、イトーヨーカ堂・安城店を会場に、本研究会としては初めての試みとなる「減災まちフェスタ2018」も開催しました。



机型起震装置「こなます号」で地震の体験。



防災クイズでは正解すると景品をプレゼント。子どもたちも張り切って回答。



1944年東南海地震、1945年三河地震の体験者の話をもとにした紙芝居の実演。